

福島県の森林環境税制度について

令和6年10月
福島県農林水産部

福島県の森林環境税制度について

1 森林・林業の課題

- 木材価格の低迷により素材生産が進まないことや、林業の担い手不足等により森林整備が停滞している。
- 充実した森林資源を活かす時代となり、伐って、使って、植えて、育てる持続可能な森林経営による森林の整備・管理を進めていく必要がある。

2 森林への関心の高まり

県民の森林に対する期待は多様化

- 水を蓄え・水を浄化する森林機能の発揮。
- 山崩れや洪水などの災害を防止する森林機能の発揮。
- 二酸化炭素を吸収し地球温暖化を防止する森林機能の発揮。
- 里山林や竹林など身近な森林の整備。
- 学校での森林環境教育・学習・活動の支援など持続的な森林環境教育の実施。
- 持続可能な社会づくりに向けた充実した森林資源の循環利用促進。



- ◎ 公益的機能の発揮のために
県民みんなで 森林の手入れを進めていく必要

3 荒廃した森林の整備

～ 多面的機能の持続的発揮に向けて ～

整備されず荒廃した森林



- 木材価格の低迷、担い手不足などにより森林の管理が停滞
- 多面的機能が発揮されない

整備された森林



- ◎ 森林の整備の促進により多面的機能の持続的な発揮へ
- ◎ 人と森林の関わりを取り戻す

平成 18 年度に森林環境税を導入

■ 森林文化のくに・ふくしま県民憲章（H17.11 制定）

わたしたちは、

- 1 森林を敬い、あらゆるいのちを尊びます。
- 2 森林にふれあい、心豊かに生きます。
- 3 森林の恵みに感謝し、活かします。
- 4 森林を守り育て、未来へつなぎます。

■ 福島県森林環境税条例（平成 18 年 4 月 1 日 施行）

県は、森林の有する公益的機能の重要性にかんがみ、森林環境の保全及び森林をすべての県民で守り育てる意識の醸成に関する施策の財源とするため、森林環境税を課する。

■ 福島県森林環境基金条例（平成 18 年 4 月 1 日 施行）

森林環境の保全及び森林をすべての県民で守り育てる意識の醸成に関する事業に要する資金を積み立てるため、福島県森林環境基金を設置する。

■ 課税期間

1 課税期間を 5 年として実施

- 第 1 期：平成 18 年度～平成 22 年度
- 第 2 期：平成 23 年度～平成 27 年度
- 第 3 期：平成 28 年度～令和 2 年度
- 第 4 期：令和 3 年度～令和 7 年度

◎ 課税額 個人：年額 1,000 円 法人：法人県民税均等割額の 10%相当

森林環境税の認知度

あなたは「福島県森林環境税」を知っていましたか。



■ よく知っていた ■ 知っていたが、内容までは知らなかった ■ 知らなかった ■ 無回答

第 4 期末（令和 6 年度）のアンケートでは認知度 35.2% となり、第 3 期末（令和元年度）と比較すると、7.4% 減少している。

森林環境税を活用した取組

■ 2つの基本目標

- 森林環境の保全
- 森林をすべての県民で守り育てる意識の醸成

■ 6つの施策展開

- 1 森林環境の適正な保全
- 2 森林資源の活用による持続可能な社会づくり
- 3 市町村が行う森林づくり等の推進
- 4 県民参画の推進
- 5 ふくしまの森林文化の継承
- 6 森林環境基金の運営



■ 基本理念の実現

豊かな森林文化のくに、ふくしまの創造
～ 豊かな森林を未来の子どもたちへ ～

森林環境税を活用した取組 1 森林環境の適正な保全

■ 森林管理の推進



整備面積
31,322ha
(H18～R5)

水源かん養等の
機能を発揮

■ 里山林の整備



整備面積
686ha
(H28～R5)

身近な森林の整備

- ・ 獣害対策
- ・ 地域ぐるみで
森林づくり

森林環境税を活用した取組 2 森林資源の活用による持続可能な社会づくり

■ 間伐材搬出の支援



■ 木とのふれあい創出



■ 森と住まいのポイント



■ 木材製品需要拡大技術導入支援



森林環境税を活用した取組 3 市町村が行う森林づくり等の推進

■ 森林環境基本枠

- ・森林環境学習の推進
- ・森林の適正管理推進



■ 地域提案重点枠

- ・県産材の利活用推進
- ・木質バイオマスの利用促進



■ 森林管理の推進

■ 第69回全国植樹祭ふくしま2018

平成30年6月10日



■ ふくしま植樹祭

第1回～第6回開催

第7回 令和6年11月10日開催予定



開催理念の継承

■ 森づくり指導者の養成



■ 森林認証の普及



SGEC認証ロゴ

■ 森林ボランティア支援



第2章 曲物



第7章 カジコ焼き



第14章 漆掻き



公開体験会

■ 森林の未来を考える懇談会

